

Fusyo Collaboration letter



2月 26日 No.37 文責 廣田 秀俊

第3回学校評議委員会 ～子供達の声聞く～

2月19日(水)に本年度3回目の学校評議委員会を開催しました。今回ご参加いただいたのは、元中津市教育長 粟田 英代様 大分教育事務所長 松村 義広様、附属小学校後援会副会長 宮永 尚様の3名の方です。今回は6年児童3名との懇談を交えての会を行いました。児童と委員さんとの懇談の様子を一部ご紹介いたします。

質問 今の段階で将来なりたいものは何ですか。

児童 医者 小さいとき喘息で小児科の先生によく診てもらったから

医者 人を助ける仕事をしたいから

先生 小学校生活を支えてくれた先生に自分もなりたい



質問 附属小学校でよかったことはどんなことですか。

児童 縦割りでのチーム活動 掃除などチームで行うことでたくさんの人に関われたから

フリートークやほめ言葉のシャワー 相手がどんなことを思っているのかわかるから

運動会や歌声発表会 主体的に行動できる場面でみんなとよりよく関わられたから

質問 この1年でついた力やうれしかったことは何ですか。

児童 最高学年としてのリーダーの姿 下学年の考えを理解して、みんなにあった行動ができた

クロールが泳げるようになった 1年生の時は泳げなかったのでうれしかった

6年生中心となって活動したこと 委員会など自分達から提案して動くことができた

質問 グローカルな視点を持つことができましたか。

外国語の活動 英語を使って日本の文化を APU で発信 文化の違いを見つけられた

ALTとの英語の会話 もっと英語が話せるようになるとよい

総合的な学習の時間 国際問題や差別、食品ロス等、各学年でも取り組むことができている

質問 附属小学校に残しておきたいものは何ですか。

児童 感謝することと感謝してもらえる存在になるよう下学年に残る伝統を残していきたい

卒業プロジェクトで学校や下学年に感謝を伝えたい 6年生みんなで活動することが伝わるとよい

委員会での姿を残していった 1～5年生が6年生がいたからがんばろうと思えてもらえたらよい

質問 6年間の中で自分でがんばったと思えることは何ですか。

児童 中学受験のための勉強

弟とのコミュニケーション 家の中でのコミュニケーション

全校第一に考えながら委員会活動を全員に発信したこと



質問 好きな教科は何ですか。

児童 社会:先生が面白いから 理科:興味が次々出てきた 総合:団結力がついた 算数:やってみると楽しい